

3カ所で40人を診察

水俣病患者家庭の健診

訴訟支援県
民会議医師団

非認定者中心に

水俣病訴訟支援・公害をなくする県民会議（議長・馬場県総評議長）の医師団が二十一日、水俣市と芦北郡津奈木町で水俣病患者家庭の健康診断を行なった。上妻四郎医師（熊本市・上妻病院院長）ら四人で水俣市出月公民館など三カ所で四十人を診察した。県民会議は県に対し水俣・芦北地方の水俣病の住民一斉検診を要求していたが実現せず、独自の立場から検診する態度を打ち出していた。検診は同地方の健康診断を主眼点に

俣市を訪れ、追跡調査をして水俣病と疑わしい人がいれば県公害被害者認定審査会の審査を受けるようすすめることにしている。

おいているが、水俣病の潜在患者の発掘も目的の一つとしている。

この日は患者家族で、水俣病に認定されていない人たちを中心にみた。今後第一、第三日曜日に水